

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十一年二月二十八日印刷納本(毎月二回一日發行)

# 哲學研究

第七卷第三册

第十七號

大正十一年三月一日發行

朱子の禮說……………文學士 浦川源吾

ペリオニイの社會生理學……………文學士 銅直勇

精神力學……………文學士 檜崎淺太郎

カント哲學に於ける「實踐的」の意義……………

……………文學士 務臺理作

彙報、新著紹介其他……………

京都市帝國大學文學部

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

### 書記

	文學士	植田	壽藏
	文學博士	狩野	直喜
	文學博士	小西	重直
	文學士	澤村	專太郎
	文學博士	高瀬	武次郎
	文學博士	田邊	元成
	文學士	千葉	胤成
	文學博士	朝永	三太郎
	文學博士	西田	幾多郎
	文學博士	野上	俊夫
	文學博士	波多	野精一
	文學博士	深田	康算
	文學博士	藤井	健治郎
	文學博士	松本	文三郎
	文學士	務臺	理作
	文學博士	米田	庄太郎
	寶嚴	方夫	

## 寄贈書籍雜誌

メーリス  
宗教哲學緒論文學士 征矢野見雄譯  
東京 大村書店モイマン  
現代の美學文學士 同 金田 廉譯  
同 店

哲學以前

文學士 同 出 隆著  
同 店リツカート  
哲學の概念文學士 同 坂崎 侃譯  
同 店ウインデルバンド  
ゲーテの哲學とフアウスト文學士 同 高橋 積二譯  
同 店諸行無常(にほひくさ)  
第六卷石川縣 同 曉 烏 敏著  
香 草 舍

哲學研究、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、  
 日華公論、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學術  
 界、教育時論、國際聯盟、教育界、精神運動、理科教育、

## 前 號 目 次

カントに於ける認識客觀性の問題(承前)……………文學士 岡野留次郎	教育活動の本質……………文學士 勝部謙造	シェルリングに於ける自由の哲學の發展(承前)……………文學士 世良壽男
文化價值體系問題(三)……………文學博士 米田庄太郎		

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内  
 外出版株式會社へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(振替大阪三三九五五番)内外出版株式會社宛に願上候  
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎特に講求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

册	數	定	價	郵	稅
六	册	金	四拾錢	金	壹
十二	册	金	四圓四拾錢	不	受
十二	册	金	四圓八拾錢	不	受

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十一年二月廿八日印刷納本  
 大正十一年三月一日發行  
 第七十二號 第七卷 第三册

製複許不  
 載 傳 禁

京都帝國大學文學部内

京都哲學會

右代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勤兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發 行 所

京都市下京區西洞院七條下  
 内外出版株式會社  
 振替口座大阪三三九五五番

發 賣 元

京都市下京區西洞院通七條下  
 京都市京橋區加賀町十番地  
 内外出版株式會社  
 振替口座大阪三三九五五番

賣 捌 所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋、(大阪) 盛文館、三文社  
 (神戸) 寶文館、川瀬書店  
 (京都) 共盛社

京都帝國大學  
助教授法學士

田村德治先生著

新 哲學の二領域としての對象論の研究

個別科學殊に文化科學に於いて、學說が多岐に分れて、而も容易に其の歸一する處を知らないのは、其れに於いて取り扱はるゝ對象を明確にせざるか、若くは之れを明確にするも、其の全體に有機的統一を與へざるに出版、實射、屬性、素質、價值等）を論究し盡して、以て其の全體の關聯に於いて、各對象の意義を決し、引いて以て個別科學の分野を定むることに資しようとしたものであつて、而して之れを爲すに當りては、未證の前提を避け、推理の過程を明かにし、理由を深く尋ね、考へらるべき論點を網羅しようご期し、斯くて數學的に計算し且檢算せられたる理論を以て、論理的に堅牢なる思惟の大建築を爲さうご試みたるものである。

菊判二百八十頁  
パピリン美裝  
定價貳圓八拾錢  
送料拾貳錢

發行所 內外出版株式會社

(振替口座大阪參貳九五番)

京都西市洞院七條下

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正十二年二月廿八日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲學研究 第七十二號

定價金四拾錢 郵税金壹錢